



神奈川県東ロータリークラブ

KANAGAWA EAST ROTARY CLUB

DISTRICT 2590/CHARTERED MAY 29-1976/WEEKLY BULLETIN

2013-2014年度 R I 会長 ロン D. バートン

●クラブテーマ「心を見つめよう」●



第2590地区 ガバナー
市川 緋佐磨

- 会 長 伊 東 英 紀
- 会長エレクト 山 田 正 憲
- 副 会 長 江 森 国 一
- 副 会 長 横 山 範 夫
- 幹 事 山 本 芳 弘
- 副 幹 事 植 田 清 司
- 会 計 朝 日 達 夫
- 副 会 計 須 永 久 一
- S A A 矢 野 修 二
- 副 S A A 小 山 市 康
- 副 S A A 石 川 正 三
- クラブ会報 佐 藤 勝 彦



写真提供 小池将夫会員

「おしどり」

事務局 ホテルキャメロットジャパン内 〒220-0004 横浜市西区北幸 1-11-3
TEL: 045-314-3900 FAX: 045-314-3555

例会日 毎週金曜日 0:30 ~ 1:30 PM (第5金曜日 6:00 PM)

例会場 ホテルキャメロットジャパン 創立記念日 昭和51年5月29日

URL <http://www.kanagawahigashi.com/>

E-mail kerc@beach.ocn.ne.jp

2013-2014年度 第29週報 No. 1823 2014年(平成26年) 2月7日 第1823回例会記録 2月14日発行

司 会 植田 清司 副幹事

特別行事 ◎Ms. Crystalへ支援金贈呈

点 鐘 伊東 英紀 会長

斉 唱 「君が代」 「奉仕の理想」

四つのテスト 河野 明光 職業奉仕委員
(第1例会のみ)

ゲスト紹介

浅野 史郎 様 (ゲストスピーカー)
Ms. Crystal Voo (ルーヤン R.C からの受入学生)
加野 亮一 様 (入会候補者)

ビジター紹介

神奈川県 R.C 金野 克佐 様
倶知安 R.C 尾崎 春人 様



本日〈2月14日〉のプログラム

- ◆ 斉 唱 「我等の生業」
- ◆ 献 立 バラ寿司御膳
- ◆ 卓 話 「限定開講！奇術の技を、
ライフスタイル／ビジネススタイルに活かす！」
マジシャン TSUKASA 様
(紹介者 白鳥 厚夫 会員)

<< 本日のBGM 「ありふれた毎日の中で
～中北利男が奏でる曾良彦由の世界～」 >>

誕生日祝

山田 正憲 会員 (2月9日)
森永 健 会員 (2月12日)



出席報告

長井 章 出席委員長

会員総数	54名	(36+18)名	
出席会員数	45名	(30+15)名	
出席率	90.00%		
ゲスト	3名	ビジター	2名
前回補正後	87.50%	前々回補正後	95.92%

スマイルボックス

石川 正三 副SAA

神奈川R.C 金野克佐様 お世話になります。
俱知安R.C 尾崎春人様 関東でも雪が積もりそうです。十二分にお気を付け下さい。

青柳 紀君 ①浅野先生、福祉のプロのお話、楽しみにしております。ご指導下さい。②宮城まり子の「ねむの木の家」の展示会への支援、よろしくお願い致します。

白鳥厚夫君 浅野史郎さま、本日の卓話、楽しみにしております。

伊東英紀君 ①先日の賀詞交歓会出席の皆様、ご苦労様でした。②浅野先生、本日の卓話、楽しみにしています。

山田正憲君 ①浅野様、本日の卓話、よろしくお願い致します。②誕生日祝いをありがとうございます。56歳になります。

森永 健君 ①誕生日祝いを頂きました。②河野さん、色々お世話になりました。

富居利貞君 先日の節分にご参加の皆様、お疲れ様でした。

山田富雄君 先日の豆まき出席の皆様、お世話になりました。

月山 勇君 先日の総持寺節分会では、富居さんには大変お世話になりました。また、参加の皆様お疲れ様でした。“福は内、福は内”だそうです。

伊澤政宏君 先日の神奈川R.Cとの合同賀詞交歓会、会長・幹事はじめ役員の皆様、ご苦労様でした。楽しかったです。

金森欣一君 矢野さん、先日は素敵なお店に連れて行って頂き、あ

りがとうございました。またお願い致します。

友添辰哉君 本日、第一テーブルミーティング、私用で出席来ません。ゴメンナサイ。

但野真実子さん ①河野さん、森永さん、秘密の会合をありがとうございました。とても楽しく、美味しいお料理でした。②赤堀さん、友添さん、事務所の件、ありがとうございます。ご迷惑をお掛け致しました。よろしくお願い致します。③賀詞交歓会後の飲み会にお誘い下さいまして、ありがとうございます。チーママ気分でした。

山本 登君 まだ寒いですね。ご自愛下さい。

西山 潔君 いよいよソチオリンピックの開会ですね。日本人選手の活躍を楽しみにしています。

江森国一君 本日のパスト会長会では、色々ご指導頂き、ありがとうございます。

山本芳弘君 ①例会前のPP会ご出席の皆様、ありがとうございます。②本日の第一テーブルミーティング、よろしくお願い致します。

2月7日	18件	65,500円
本年度累計		1,310,238円

幹事報告

山本 芳弘 幹事

- ・次週、例会終了後に2月度定例理事会を開催致します。
- ・㈱クマヒラより「抜粋のつづり」が届いておりますので、ボックスへ配布致しました。
- ・2014-15年度のロータリー手帳の注文依頼が来ております。申込書を回覧致しますので、必要とされる方は名前を明記願います。なお、代金につきましてはクラブより負担致します。
- ・米山寄付とR財団寄付の確定申告用の領収書をボックスへ配布しました。ご確認よろしくお願い致します。

委員会報告

雑誌委員会 河野 明光 委員

「ロータリーの友」の記事でロータリアン以外の投稿が掲載されている箇所を皆さんはご存知でしょうか？その掲載箇所とは、俳壇、歌壇、柳壇のコーナーです。うっかり見逃してしまいそうですが確かに末尾に「投稿規程」*クラブ会員、家族 と小さな活字で明記してあります。石川会員によりますと、このコーナーにロータリアンと奥様が競って投稿される「友」のファンもおられるそうです。今夜、ご自宅にお帰りになりましたら是非とも晩酌の傍ら「友」への投稿を、奥様とご相談されては如何でしょうか。

もう一つ、これも石川会員からの情報ですが、「ロータリーの友」3月号に当クラブ雑誌委員会が投稿した、「昨年10月13日に反町公園で実施したスリランカ募金活動」の写真及び原稿が「ロータリーネットワーク(写真編)」の欄に掲載されることが決定したそうです。一足お先に来月号の予告をご披露させて頂きました。

「地域が支える福祉」

神奈川大学特別招聘教授 浅野 史郎 様
(紹介者 白鳥 厚夫 会員)



地域の一員である障害者に、我々はどう対処すればいいのか。それを知るためには、障害者とは何か、障害者が望むことは何かを理解しなければならぬ。そして、こちらも地域の一員として、できることを実践することが手取り早い。そういったことの例として、「ぶれジョブ」について紹介する。

今回、「ぶれジョブ」を取り上げる趣旨は、「障害者問題は、自分たちにとって手の届かないものではない」ことを伝えたいということである。

障害者問題の本質を考えさせるトピックとして、障害者差別解消法の成立、出生前診断による選別、障害者施設設置反対運動についても簡単に触れる。

「障害者問題の本質」というのは、大げさなことではない。「障害者も地域の一員である」ということを出発点にして考えれば、おのずから答えは出てくる。至極当たり前のことを、当たり前を考えるということ。その一助として、「ノーマライゼーション」について、「街に慣れる、街が慣れる」というコンセプトを使って、説明を試みる。

ロータリーニュース

倫理の難問、酒の肴に

お腹を空かせた子どもがいるのに、お金がなくて何もできない。食べ物を盗むべきか、それとも、我が子を飢えさせようとも法と秩序を守るべきか・・・

あなたが親なら、どうしますか？きっと苦渋の決断を迫られるこ

とでしょう。しかし、これが酒の肴となると話は違います。

ここは、米国ミシガン州アナーバーにある、とあるアイリッシュパブ。非営利組織「A 2 Ethics」による主催の下、ロータリアン、学生、退職者、社会人、学者が集まって、簡単に答えの出せない命題に、お酒を片手に熱い議論を交わしています。

楽しみながら倫理を語る

- どうすれば、倫理的ジレンマを数量化できるか？
- ドーピングを使用したスポーツ競技者は、再び選手として活動できるか？
- 無人飛行機による攻撃は、道徳的見地から禁止されるべきか？

知識と論理がぶつかり合うこの酒場では、倫理的な問い、最近の話題に注目した問い、公の場では発言しづらい問いなど、さまざまな命題が投げかけられます。ステージには3人の審査員が並び、2分間の回答を評価します。また、聴衆はスコアカードを手に、発表者に耳を傾けます。

「一般市民が出演するダンス番組や歌番組がありますが、それと似たようなもので、一般参加者が議論を交わすんです」

こう話すのは、教育、ネットワークキング、地域イベントを通じて、倫理に対する認識向上を目指すA 2 Ethics代表者のジェニー・デレイさん。「楽しみながら倫理を語り合える」機会づくりに力を入れています。

「ロータリアンには、行動の倫理的指針として “四つのテスト” がありますが、ロータリアンでない人たちにも、それぞれの道徳的指針がある」と話すのは、聴衆の一人、カレン・ケリーさんです。

2014-15年度にアナーバー・ロータリークラブ会長となる彼女は、このパブでの弁論大会にクラブで参加することを考えています。また、学生時代に哲学を学び、現在インターネット起業家として活躍する経験から審査員をしているブラッド・チックさんも、妻のケリーさんのアイデアに同調します。

「古代ギリシャのアクロポリスや、古代ローマのフォロ・ロマーノなど、人間には、集会を開いて議論を交わしてきた長い歴史があります。しかし、人びとは議論の場から離れていつているように思えます。でもこうやって、酒場で議論することだってできるんです」

難問をぶつける

結局のところ、ここは大学がある街の開かれたパブ、店はあたたかい雰囲気にも包まれています。食べ物に手を伸ばしながら隣の人と小声で話し、何かをメモしている人もちらほら。そこで弁論大会の司会者がお題を発表しました。

- 選挙で、当選してほしい候補者がいたとします。でも、とても重要な論点で意見が一致している場合、この候補者に投票するのはいけないことでしょうか？

すると、ミシガン大学の医学生がマイクを取って次のように述べました。

「重要な論点で賛成できる人なら、投票して問題ないと思います。例えば、私が平和主義者で自分の子どもには戦争に行ってもほしくないと思っていたとします。そこで戦争反対者の候補者がいたらほかのすべての点で賛成できなくても、この人に投票すると思います」

これに対して、ミシガン大学で衛生保健法の教鞭をとっている審査員から、次のような言葉が返ってきました。

「私は人生の大半を、2つの悪の“まし”なほうを選びながら生きてきました。だから、こう感じるのかもしれませんが、とても素晴らしい答えだと思いました」

新しい考えを学ぶ

リベラルアーツの私立中学校、総合マーケティング企業、大学の臨床研究所、女性権利の擁護団体、市民参加を推進する無所属政府団体など、実にさまざまなグループが弁論大会に参加します。

「異なる背景や目的をもつ人たちが倫理的に絞って議論するから、みんな新しい考え方を学ぶことができる」と、弁論大会の司会者は説明します。代表者のドレイさんも、次のように話しました。

「ここは、さまざまな職業の人たちが夕方から集まって、口論せずに話し合える場所。偏った見解に陥ることもありません」と話すのは、代表者のドレイさん。

「倫理と公共心のある地域社会づくりを目指すロータリアンにとっても、役立つアイデアを知るショーケースとなるでしょう」



倫理的問いへの回答を審査するブラッド・チックさん

ザ・ロータリアン

2014年2月 RI会長からのメッセージ

親愛なるロータリアンの皆さん、ポール・ハリスと3人の友人が最初のロータリークラブを創立したのは、109年前の今月です。彼の目標は、見知らぬ人ばかりの街で、同じ価値観を分かち合う人と親睦のオアシスをつくるというシンプルなものでした。

生き続けるポール・ハリスのビジョン

時を経て、ロータリーの哲学は発展し、成熟し、ロータリアンの理想は、奉仕、職業倫理、国際理解と広がりました。ロータリーが成長し、広まった時、ポール・ハリスは、紛争が完全になくなった世界を思い描きました。個人的なつながりと違いを受け入れる包容力で、戦争は過去のものになるだろうと考えました。

もし、人々が友情と寛容の精神で一つになることができさえすれ

ば、いかに共通点が多いか、すぐに理解するだろうと、彼は感じたのです。幸いなことにポール・ハリスは、存命中にロータリーの考え方が確固たるものとなり、世界中の国々でロータリーが創立されるのを見ることができました。

毎週、3万4,000の地域社会において、それぞれのロータリークラブの例会の中で、彼のビジョンは生きています。しかし、国際ロータリー（RI）の年次大会ほどポール・ハリスのビジョンを鮮明に映し出しているところは、世界のどこにもないでしょう。

多様性が織り成す華やかなタペストリー

数日の短い期間ですが、国際大会では、ポール・ハリスが想像した世界——平和を築き、他者に奉仕し、そしてただ、お互いに仲間と楽しむために、世界のあらゆるところから人々が集う世界——を目にすることができます。異なる背景、政治、文化、宗教が一枚の華やかなタペストリーへと織り合わされていきます。それは忘れられない経験であり、ジェタと私が毎年楽しみにしていることの一つです。大会は毎回異なりますが、どれも大切な思い出です。

今年、6月1～4日にシドニーで開催される第105回RI年次大会で、私は議長を務める荣誉に浴します。シドニーは活気ある中核都市で、西と東の玄関口でもあり、ロータリーの国際大会の開催地として、まさにふさわしい場所です。たちまちわくわくし、リラックスできるこの街は、多様性に富み、豊かな文化と歴史があり、そして、私が訪れるのを楽しみにしている街の一つです。私は、この街がいつも故郷にいるような気分にさせてくれることを知っています。また、いつも新しい発見があります。

2014年、ロータリーの会員はシドニーに集まって、シドニーから「グダイ（G'day=Good Day）」と言いましょ。世界に手を差し伸べるために、そして、お互いに手を取り合うために、私たちは友人として、そしてロータリアンとして、誰もが歓迎される環境の中で集います。私たちの成功を祝い、将来に目を向け、「ロータリーを実践し みんなに豊かな人生を」の新しい方法を見つけるため、皆さんの参加をお待ちしています。



ロン D. バートン
2013-14年度会長

次週《2月21日》の卓話予定

テーマ 「写真が語る沿線」

とうよこ沿線編集者 岩田 忠利 様
(紹介者 茂木 知子 会員)